



クローズアップ  
CLOSE UP

工事前にツツジ見納め

4月27日から29日まで、敷島浄水場の一般開放を実施。約40種370本のツツジが咲き誇りました。マンホールTシャツ制作会なども実施。配水塔更新で、場内開放がしばらくの間休止になってしまうこともあり、連日多くの家族連れでにぎわいました。



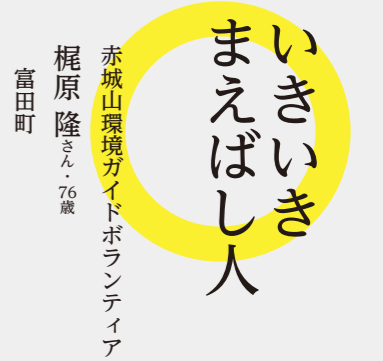
進路決めるきっかけに

4月25日、ヤマダグリーンドーム前橋で「進路のミカタ LIVE・ミライバシ2019」を開催しました。進路を考える時期である高校生に、市内企業などを紹介するこのイベント。企業や大学など合わせて100以上の体験・相談ブースで、進路選択を真剣に考えていました。



新緑の川沿いを駆ける

4月21日に前橋公園を拠点に前橋・渋川シティマラソンを開催。ファミリージョギングからフルマラソンまでさまざまな種目に約4,800人の選手が参加しました。また、レース後にはtonton汁が配布され、参加者は疲れた身体を癒やしました。



母なる山の魅力を多くの人に

赤城山の環境ガイドボランティアティアとして10年前から活動する梶原さん。



合わせる難しさがあつましたが、だんだんとこつをつかめてきた気がします。

ガイドの活動以外でも、バックカントリースキーやスノーシューなどで年間20回ほど赤城山を訪れるという梶原さん。

「赤城山は萩原朔太郎など文化人も登ってきた山。また、河川の沿革を語る上で重要な存在です。訪れる人には赤城山と群馬県、利根川、そして前橋についてより深く知ってもらいたいと思いガイドをしています」

5、6年前から視覚障害者へのガイドも始めた。危険な箇所などを熟知した確かな判断をする必要があるため、ガイドとしての経験と豊富な知識が必須だ。

「これまで約20人を案内しました。初めは気持ちを通じ



暮らし課  
☎027・898・6510

都市部から前橋へ生活拠点を移し、赤城南麓を中心とした市内のさまざまな場所で活動する地域おこし協力隊。このコーナーでは、5人の協力隊が交代で日頃の活動を紹介します。今回は曾根田高輝隊員です。



雑草を減らし、美しいツツジの群生地

赤城山の白樺牧場で羊の放牧が始まりました。「白樺牧場という名前が付いているのに動物がいなくて」という観光客の声を受けたこと、ツツジの名所で

ある白樺牧場の雑草を少しでも減らすためです。放牧するのはまだ5頭という極少数ですが、たくさんの人に目に來てもらい、赤城山の観光振興に少しでも役立ってほしいと思っています。



羊を運ぶ曾根田さん。大切に育てています

さて、その5頭ですが、6月1日(土)に赤城山総合観光案内所で開催するお披露目式に登場します。公募で決まった羊たちの名前の発表や、名前採用者への賞品贈呈、羊毛を使ったワークシヨップなども行われる予定です。どんな名前を付けてもらえるのでしょうか。楽しみです。